

索道安全報告書

(2016～2017)

2017年

中部スノーアライアンス株式会社



ひるがの高原スキー場

ひるがの高原コキアパーク

第1クワッドリフト

第2ペアパラレルリフト

第3ペアパラレルリフト

第5ペアリフト

第6ペアリフト

1、利用者の皆様へ

当社の索道事業に対して、日頃よりご利用とご理解を賜り、誠にありがとうございます。
当社は「安全の確保」をその企業行動指針の第一として掲げるマックアースグループの一員として、株式会社マックアースの運営方針に従い全ての役職員は行動しており、皆様に安心してマウンテン・レジャーを楽しんで頂けるよう、法令厳守とともに安全輸送に努めております。
本報告書は、鉄道事業法に基づき、安全輸送の取り組みと実態について、広くご理解をいただくために公表するものであります。皆様からの声に耳を傾け輸送の安全に役立てたく、積極的なご意見を頂戴できれば幸いです。

中部スノーアライアンス株式会社
代表取締役 一ノ本 達己

2、基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社の経営理念の第一は、安全の確保です。「安全基本方針」を次のように掲げ、代表取締役以下従業員に周知、徹底しております。

- ① 一致団結して輸送の安全確保に努めること。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規定をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行すること。
- ③ 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めること。
- ④ 職務の実施にあたり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のあるときは最も安全と思われる取り扱いに努めること。
- ⑤ 事故、災害などが発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとること。
- ⑥ 情報は漏れの無いよう迅速、正確に伝え、透明性を確保すること。
- ⑦ 常に問題意識を持ち、必要な改革に果敢に挑戦するよう努めること。

(2) 安全目標

索道輸送安全目標(平成28年)は次表のとおりです。

区分	項目	内容
定量的な目標	索道運転事故	発生件数0をめざす

3、事故等の発生状況とその再発防止処置

(1) 索道運転事故(索道人身傷害事故)

平成28年度、運転事故等が1件発生しました。

①平成29年1月29日、第2パラレルリフトにて、乗客2名(母親と子供)が乗車した搬器が、第5支柱付近で母親がセーフティーバーを上げたところ、同乗していた子供が搬器より3m下の雪面に落下して負傷しました。

この事故の再発防止策として以下の対応を行い、事故防止に努めてまいります。

- ①乗客の乗車後の監視の強化を行います。
- ②乗車中の注意事項の表示や案内等、注意喚起の充実を図ります。

(2) 災害(地震・風害・豪雪・凍結など)

一時的な強風のため運行開始が遅れたり、一部のリフトについては運行を停止しました。

(3) インシデント(事故の兆候)

平成28年度、インシデントの発生はありません。

(4) 行政指導

平成28年度、監督官庁からの指導はありません。

4、安全輸送のための取組

(1) 人材教育

① 各種索道研修会等の参加

- | | |
|---------------------------|----|
| ・ 美濃地区索道協会奥美濃支部会(シーズン反省会) | 2名 |
| ・ 美濃地区索道協会技術講習会 | 5名 |
| ・ 美濃地区索道協会雪上車両運転取扱い講習会 | 7名 |
| ・ 中部運輸局索道技術管理者研修会 | 2名 |

② 社内研修の実施

平成28年12月5日 冬期シーズン索道スタッフ全員を対象とした索道研修会を実施いたしました。その他、各索道現場にて随時、安全に関する教育・運転取扱いに関する教育を行いました。

平成29年9月24日 夏期シーズンに向けた研修会を索道現場にて実施しました。

(2) 緊急時対応訓練

平成28年12月5日 緊急時を想定した救助訓練を実施しました。

平成29年9月24日 緊急時を想定した救助訓練・予備エンジン操作訓練を実施しました。



【12月冬季索道係員講習会】



【12月救助訓練】



【12月予備原動機作動訓練】



【8月救助訓練】

(3) 安全のための投資と支出

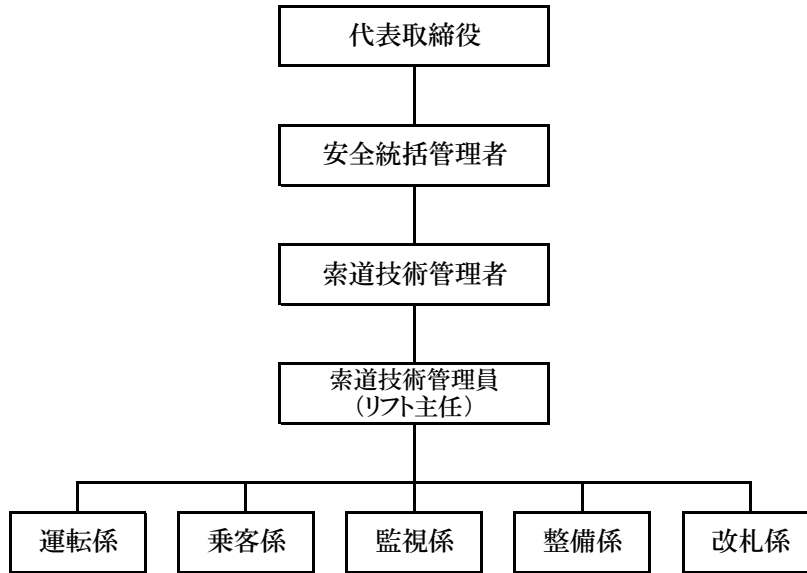
安全の維持及び向上のため、下記のとおり整備工事を実施いたしました。

- | | |
|-------------|---|
| 第1クワッドリフト | <ol style="list-style-type: none">1、 握索機OH 42機2、 原動機・自在軸継手OH3、 山麓・山頂ランプレール交換4、 各制動機オイル交換5、 索受装置、原動緊張各装置給油6、 搬器、握索機点検給油 |
| 第2ペアパラレルリフト | <ol style="list-style-type: none">1、 索輪交換 16本2、 搬器振れ止めキャップ交換 58機3、 各制動機オイル交換4、 索受装置、原動・折返し装置給油 |
| 第3ペアパラレルリフト | <ol style="list-style-type: none">1、 索輪交換 8本2、 搬器振れ止めキャップ交換 58機3、 各制動機オイル交換4、 索受装置、原動・折返し装置給油 |
| 第5ペアリフト | <ol style="list-style-type: none">1、 減速機オイル 油圧緊張ブレーキオイル交換2、 搬器振れ止めプラグ交換 101機3、 握索機OH 101機4、 索受装置、原動・折返し装置給油5、 握索機点検整備(全基) |
| 第6ペアリフト | <ol style="list-style-type: none">1、 搬器振れ止めプラグ交換 101機2、 索受装置、原動・折返し装置給油3、 握索機点検整備(全基) |

その他、各リフトにおきまして全索受装置、場内装置等の各部の給油、制動機関係のオイルの交換を行いました。

5、 当社の安全管理体制

代表取締役をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にして入ります。
 又、各現場にて業務報告書を通じ、ヒヤリハットや反省・気付き・改善提案等を索道技術管理員へ報告し日々の業務に反映させております。



代表取締役	輸送の安全確保に関する最終的な責任を負う
安全統括管理者	索道事業の輸送の安全確保に関する業務を統括する。
索道技術管理者	安全統括管理者の指揮の下、索道の運行の管理、索道施設の保守管理、その他技術上の事項に関する業務を統括管理する。
索道技術管理員	索道技術管理者の業務を補助する。

6、利用者の皆様の連帯とお願い

(1)お客様の声をかたちにし、お客様の期待に応えられるよう努めてまいります。お客様からお寄せいただいた声を真摯に受け止め、より信頼され安全サービスが提供できるよう約立てます。

(2)リフト乗車時の注意事項

お客様の行動は、リフトご利用のお客様全員の安全に係わっています。リフトご利用には、責任と義務が伴います。

次のことを守ってください。

(乗車時)

- ① リフトの乗り降りに不安のあるお客様は、係員まで申し出てください。
- ② 乗車位置では、滑走具を正しく前に向けてお待ちください。
- ③ ストック等が隣のお客様に迷惑にならないようご注意ください。
- ④ 乗り損なったら、すぐにリフトから離れてください。
- ⑤ リュック、衣類等のひもにご注意ください。

(乗車中)

- ① セーフティーバーを下ろし、深く腰をかけてください。
- ② 椅子から飛び降りること、椅子を揺らすことはしないでください。
- ③ 身の回り品や物品の落下にご注意ください。
- ④ 空き缶、たばこの吸い殻、その他の物品を投げ捨てないでください(環境保護の為)。

(降車時)

- ① 降り場が近づいたら、セーフティーバーをあげ降りる準備をし、降りた後はまっすぐ進み、次のお客様の迷惑にならないようご注意ください。
- ② 降りられなかったら、椅子にそのまま座って係員まで申し出てください。

(その他)

係員の指示に従ってください。

連絡先 〒501-5301 岐阜県郡上市高鷲町ひるがの4670-75
中部スノーアライアンス株式会社
ひるがの高原スキー場

TEL 0575-73-2311

平成29年12月